

信州飯山 吉ボルダー

令和5年11月15日 RCT/K

昨年の春、飯山市木島地区の吉集落付近を通った際、山際の用水路の土手に小さな岩があるのに気が付く。近くまで行ってみると、2m程の小さなフェイスで枯れ草が垂れ下がりあまり面白そうな岩ではなかった。しかし特に期待するわけでもなく土手を上がってみると、用水路を挟んで山の中に幾つか岩が見える。確認のために傍まで行ってみると、岩は上部が厚い苔に覆われていたが、きれいに落とせば幾つか課題が設定できそうであった。

その後、なかなか行く機会がなく、昨秋の大怪我もあって、結局今秋になり漸く掃除とトライに行くことができた。

対象となる岩は3個ほどで、小さな岩2つと3m程の大きめの岩が1つある。岩質は安山岩で硬く、下地は安定している。

アクセスは、飯山市木島地区の吉集落を目指して行く。県道38号から吉集落方面に入ると右に大きくカーブする地点に遊具のある広場があり、コンクリの駐車スペースに停める。徒歩で農道から山際の用水路に上がり右に行くと山の中にボルダーが見えるので、有害鳥獣防止柵を回り込み山に入る。駐車スペースからボルダーまで5分程である。

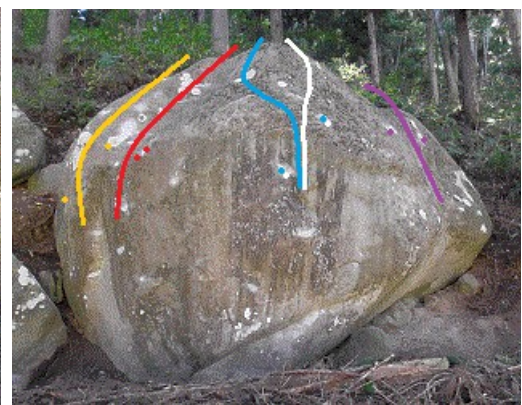
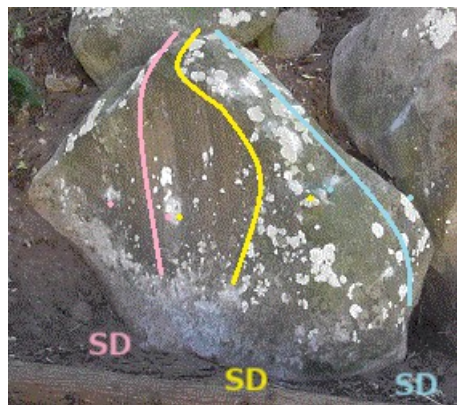


《課題紹介》

左: 中央に穴のある岩。

右: 一番大きな岩。
全てスタンディングポジションからスタート。

右下: 用水路から入ったところにある岩。



ピンクラインは、穴を右手でスタート。

黄色ラインは、穴を左手、右手はカンテのガバでスタート。
水色ラインは、易しいカンテ。

オレンジラインは、凹状部の左のふくらみを上がる。

赤ラインは、凹状部を真っすぐ上がる。

青ラインと白ラインは、右手小カチで耐えられずジャンプしてカチホールドをとった。青ラインは赤ライン側のカチホールドを使用、白ラインは跳びついたホールドにマントリングして真っすぐ上がる。

紫ラインは、右手縦カチで足を上げる。



黄緑ラインは、支えとなっている下の岩は使用しない。下地がちょっと傾斜地で不安定。